



滝山城主 北条氏照

滝山城主 北条氏照がご案内

戦国八王子の山城歩き

百年の彩りを
次の100年の
輝きへ



滝山城跡 二の丸南の空堀



八王子城跡 御主殿跡



根小屋城跡 虎口

中世の八王子は、古甲州道や鎌倉街道、河越道（川越道）、相州道などが交差する交通の要衝でした。この時代に地域を治めていた長井氏、大石氏、小田原北条氏などが築いたとされる中世城郭（山城）は数多くあり、今なお戦国時代の姿を留めているものが少なくありません。

この「戦国八王子の山城歩き」では、八王子市域に今も残る中世城郭を紹介しています。普段の生活から少し飛び出して、身近な山城で戦国時代にタイムスリップしてみませんか。そこに残る遺構は何かを語りかけてくれるかもしれません。数百年前の領主や武士、そして領民たちが暮らしていた痕跡が今も残っていて、想像をめぐらせれば、その生き様が垣間見えてくるのです。